

(株) マイクロジェット

本社住所	長野県塩尻市大門五番町 79-2				
代表者	山口 修一	設立年月	H9(1997)年 9月	資本金	10 百万円
経営理念	インクジェット技術関連分野において、先進的、革新的、独創的な技術開発に挑戦し、これらの成果を他社技術と有機的に結合させて新たな価値を創造し、地球環境に配慮した新製品を継続的に世に送り出していくことを使命とする。				
業務分野	インクジェット技術関連分野（研究用装置の開発・販売・電子デバイスの開発）				
連絡先	TEL : 0263-51-1734 アドレス: sales3@microjet.co.jp	HPアドレス	http://www.microjet.co.jp		

事業内容のご紹介

- ・インクジェット研究開発用装置の開発・製造・販売
- ・インクジェット技術を用いた新工法による電子デバイスの開発受託
- ・インクジェット技術コンサルティング／専門セミナー開催等

会社のPR

【インクジェット技術】

インクジェット技術とは、1滴が1ピコリットル（ピコは1兆分の1）ほどの超微小液滴を1秒間に100万個以上、非接触でデジタルデータに基づいて、狙った位置に着滴させる技術である。

版やマスクを用いた従来のアナログ印刷技術では、マスクに残った未利用材料が無駄になるが、インクジェットは必要な部位に必要な量だけしか塗布しないので「省材料・省エネ・省廃棄物」を実現する新しい時代の本命技術と目されている。

色のついたインクの代わりにDNA、細胞、抗体、金・銀のナノ粒子液、レジスト、カラーフィルター材料を用いれば、診断チップや電子回路、レンズ、3次元の骨等をつくることができる。

【会社の特徴】

インクジェットはノウハウのかたまりと言われるが、特に液を吐出させるヘッドの開発と液の開発が難しく、更には安定して吐出させるための信頼性技術が肝である。弊社は15年以上に渡って、インクジェットの研究開発分野でノウハウを蓄積し、この技術を応用する際の開発支援ビジネスを展開している。

具体的には技術コンサルティングや研究開発用装置の開発販売、セミナーの開催、専門書籍の販売等、総合的にインクジェットの研究開発を支援している。バイオ用途向けのヘッドの開発にも成功し、それらを積極的にバイオ分野で応用し、イムノクロマト塗布装置や超微量分注装置等も販売している。



【会社の強み】

1. ヘッドと各種吐出液をマッチングさせ、液滴を安定吐出させる技術に精通
2. 装置化の要であるインクジェット要素技術に精通（ヘッド、吐出液、液供給システム、メンテナンスシステム等）
3. インクジェット応用装置を高い信頼性で安定稼働させる技術に精通

代表者のメッセージ

インクジェット技術は100年以上の歴史を持つ最難度の技術です。この技術を応用したものづくりやバイオ分野への応用のニーズは多くあるが、一から開発していたのでは10年以上の歳月を必要とします。そこで当社では、自社で蓄積した技術やノウハウを用いてお客様による多様な開発を支援致します。そして、環境に配慮したものづくりを普及させていきたいと考えています。